



平成27年3月期 第2四半期決算補足説明

東亜ディーケーケー株式会社
平成26年10月
(東証1部:6848)

- 計測機器業界は、輸出産業を中心とする企業収益の改善を背景に、設備投資が緩やかな回復基調にあること、官公庁向の設備更新需要が増加傾向にあることから堅調に推移。
- 上下水道用分析計、ポータブル多項目水質計の市場導入に加え、本社隣接の賃貸ビル(TDビル)の新テナントの入居もあり増収。利益面では、円安による仕入原価のアップや石化プラント特需の原価高、経営効率化を目途として導入した新基幹システムの減価償却費負担増があったものの、増益を達成。
- 単月黒字化61ヶ月連続記録更新中（平成21年9月～）

（単位:百万円）

	H25.9 実績	H26.9 実績	前年同期比増減		計画
			金額	%	
売上高	6,149	6,395	+245	+4.0%	6,400
営業利益	349	399	+50	+14.5%	410
経常利益	386	415	+29	+7.5%	420
四半期純利益	192	226	+34	+17.8%	230
減価償却費	183	241	+57	—	—

（注）金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

計測機器事業

売上高**6,274**百万円(+3.3%)、セグメント利益**691**百万(+2.8%)

- 前期から引続き、官公庁向け上下水道用分析計が好調裡に推移したほか、海外はアジアを中心に環境用水質分析計が寄与するなど、増収を達成。
- 利益面では、環境・プロセス分析機器の比較的当社が得意とする機種分野を中心に売上高が増進、減価償却費負担増や円安による仕入コストアップの影響を受けたものの、増益を達成。

不動産賃貸事業

売上高**120**百万円(+61.6%)、セグメント利益**65**百万円(+98.5%)

- 前年に1棟貸テナントが退去した本社隣接の賃貸ビル(TDビル)の新たなテナントの入居が完了し、増収増益を達成

平成27年3月期 第2四半期決算(分野別売上高)

(単位:百万円)

		H25.9 実績	H26.9 実績	前年同期比増減	
				金額	%
計測機器事業	環境・プロセス分析機器	1,981	2,331	<u>+350</u>	<u>+17.7</u>
	科学分析機器	884	826	△58	△6.6
	産業用ガス検知警報器	215	146	△68	△32.1
	電極・標準液	1,072	1,013	△58	△5.5
	保守・修理	916	904	△12	△1.4
	部品・その他	1,005	1,052	+47	△4.7
	合計	6,075	6,274	+199	+3.3
不動産賃貸事業		74	120	+45	+61.6
合計		6,149	6,395	+245	+4.0

水処理を必要とするあらゆる業界の生産・品質管理プロセスに導入、生産性向上に貢献

水の酸・アルカリ濃度を測る「pH計」は業界でもトップシェア

水道水用水質自動測定装置は首都圏を中心に販売堅調

PM2.5測定装置は国内シェアNo.1（約50%）



pH計変換器



水道水用水質自動測定装置
(MWB4-72型)

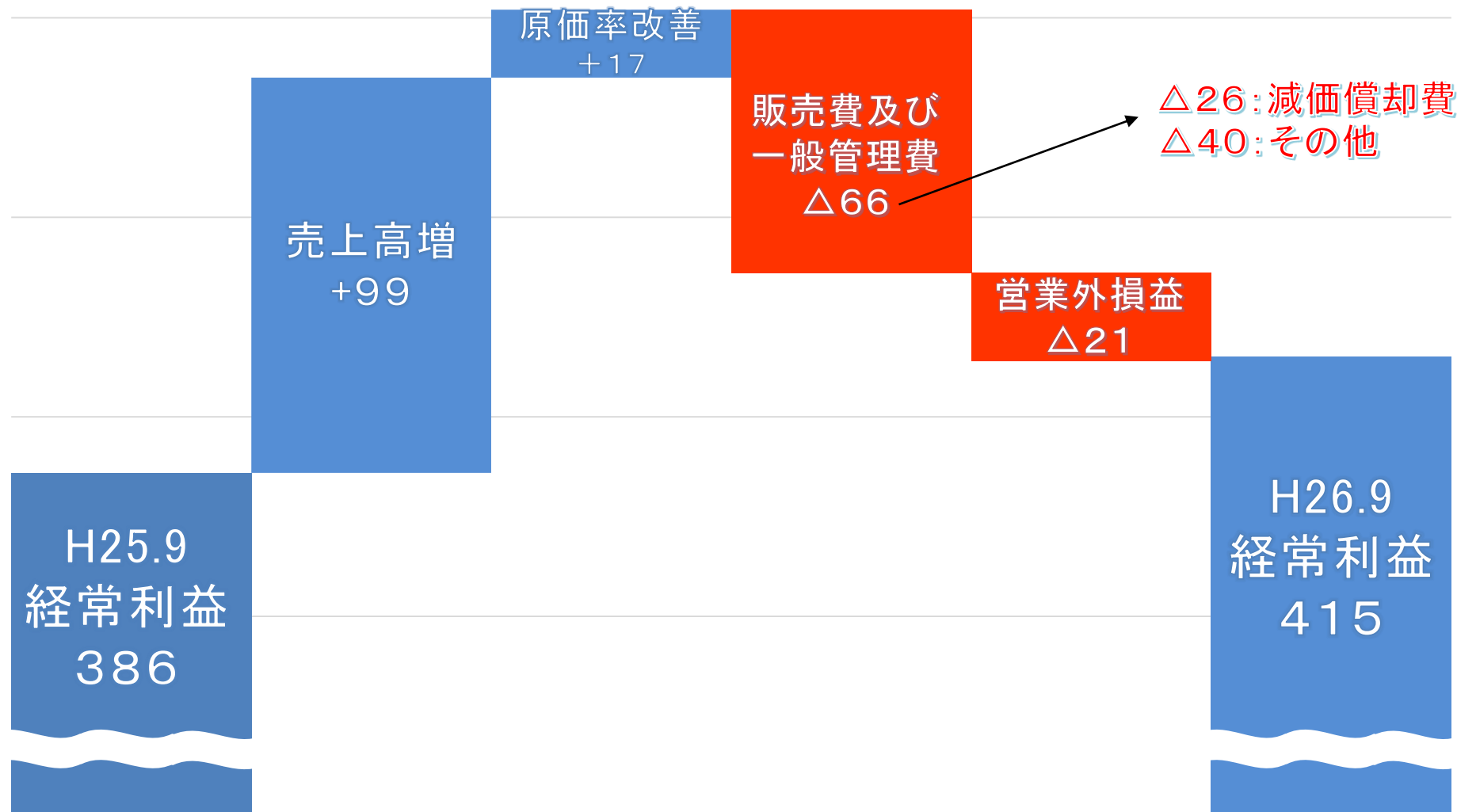


微小粒子状物質 (PM2.5) 測定装置
(FPM-377B型)

経常利益増減分析



(単位:百万円)



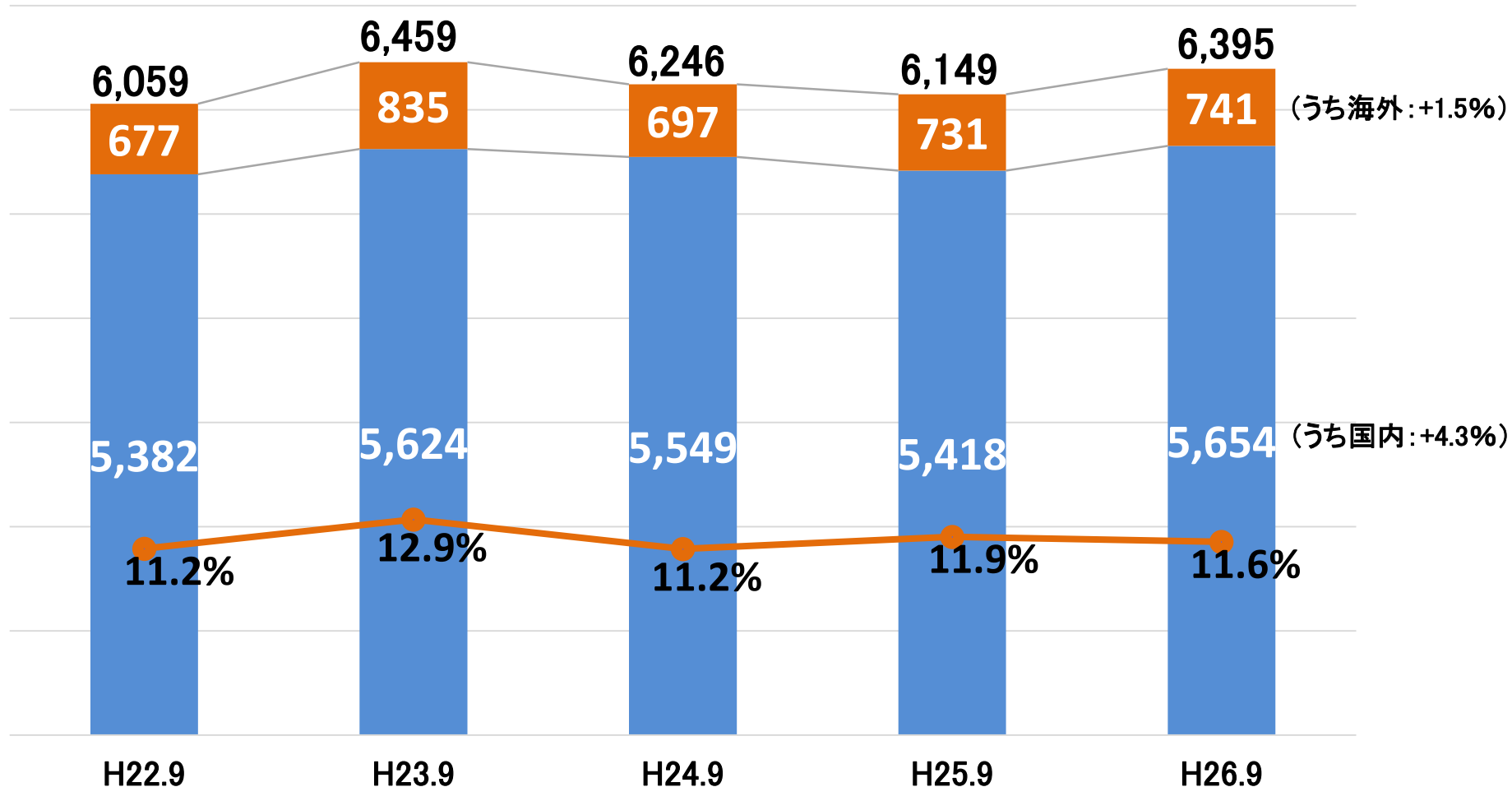
国内・海外売上高推移



■ 国内売上高 ■ 海外売上高 ● 海外売上高構成比

(単位:百万円)

対前年同期比: +4.0%

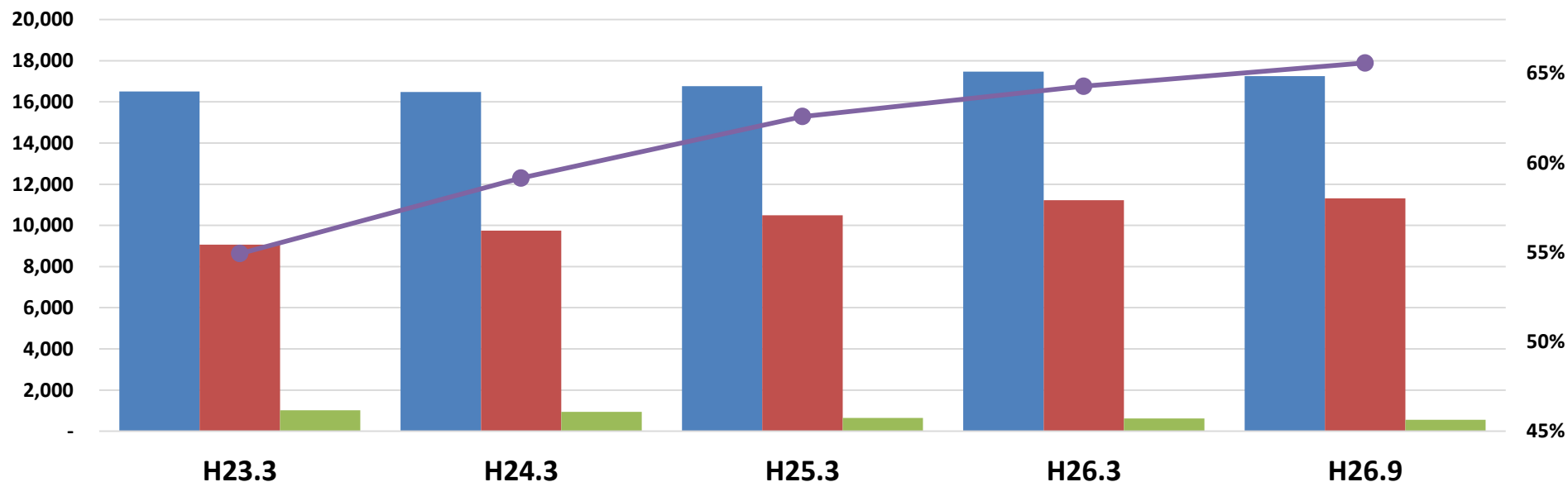


財務状況



(単位:百万円)

総資産 純資産 借入金 自己資本比率

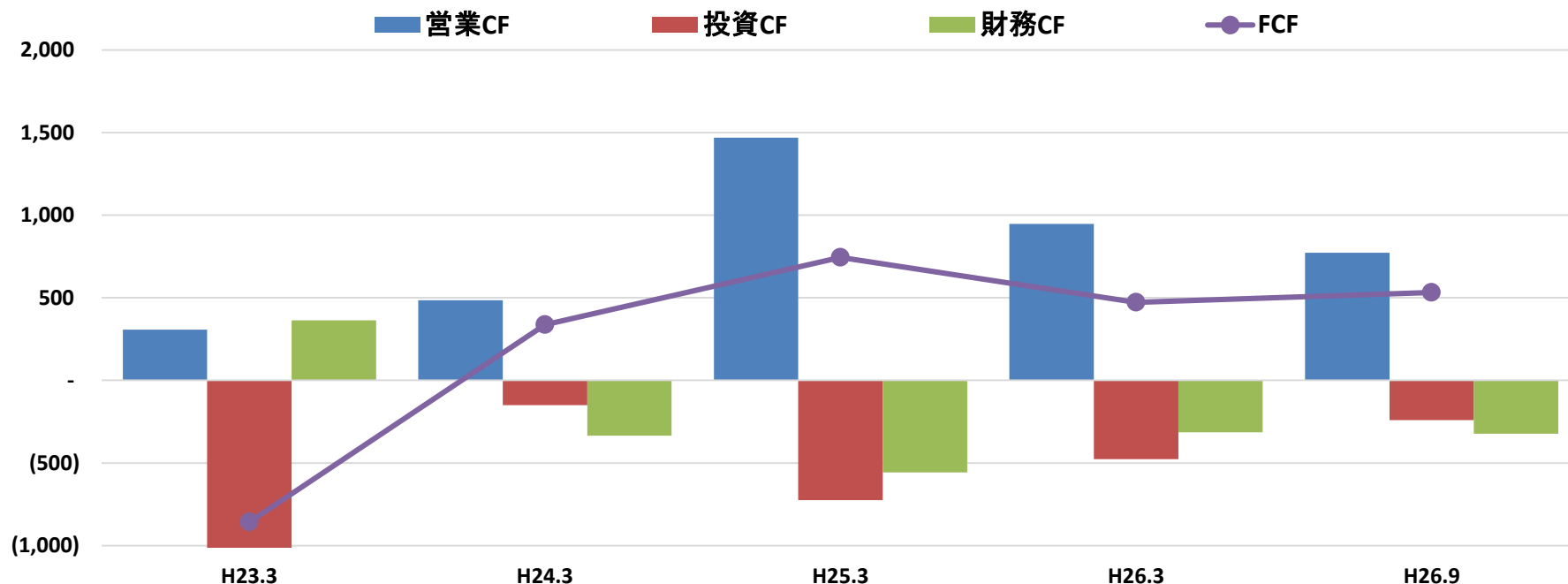


	H23.3	H24.3	H25.3	H26.3	H26.9
総資産	16,512	16,477	16,769	17,469	17,218
純資産	9,069	9,745	10,494	11,228	11,314
借入金	1,023	948	650	619	553
自己資本比率(%)	54.9	59.1	62.6	64.3	65.7

キャッシュフローの状況



(単位:百万円)



営業CF

H23.3

308

H24.3

486

H25.3

1,470

H26.3

948

H26.9

772

投資CF

△1,166

△149

△725

△476

△240

財務CF

364

△334

△557

△314

△323

FCF

△857

337

745

471

531

計測機器事業

- 国内：環境・プロセス分野での設備更新需要が増加傾向、透析用薬剤溶解装置の販売強化
- 海外：中国・台湾・韓国における環境用水質計や重金属モニターの拡販期待

不動産賃貸事業

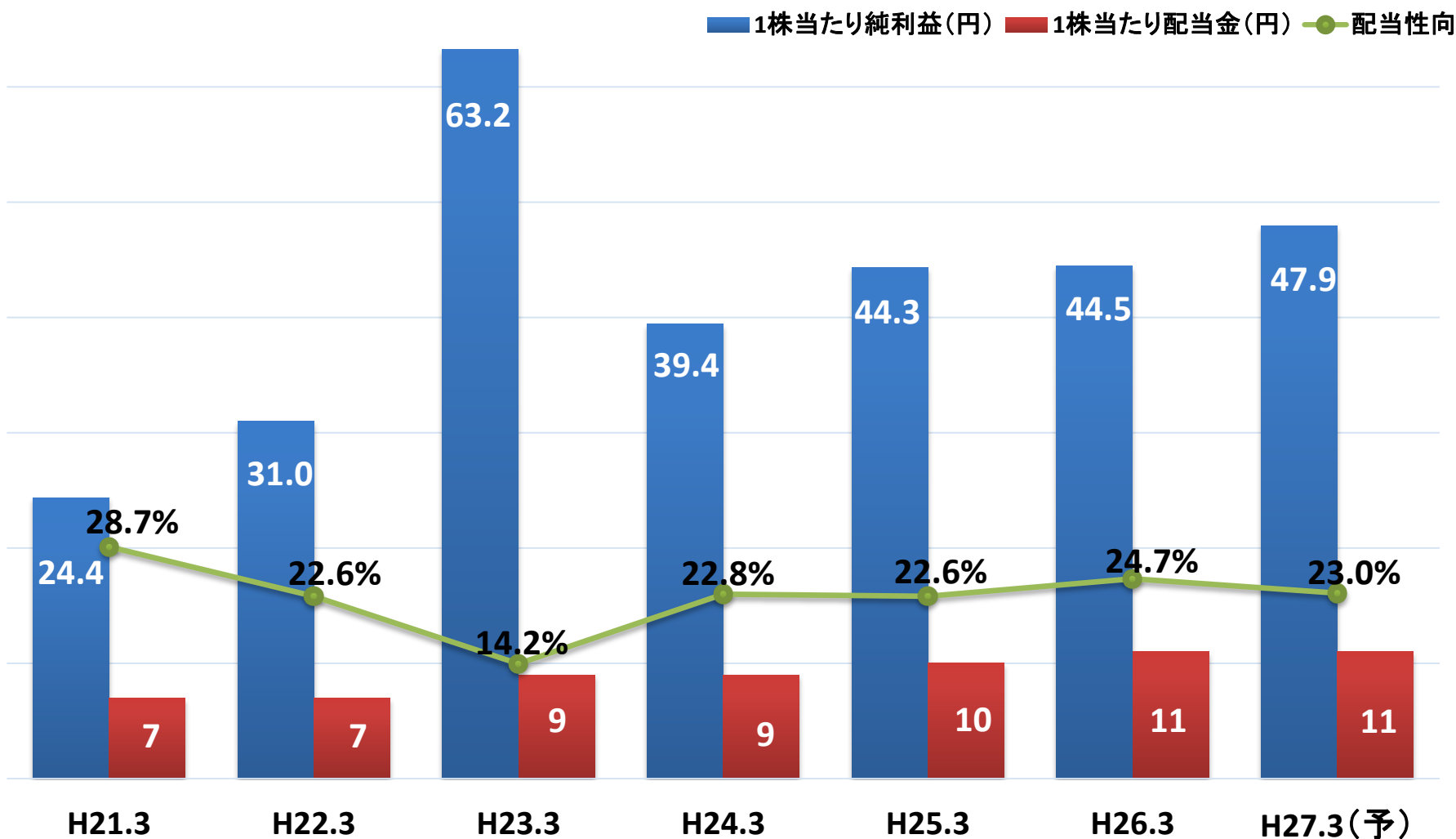
- 本社隣接の賃貸ビル(TDビル)の新テナントの入居が完了、通期安定収入実現へ

(単位:百万円)

	H26.3 実績	H27.3 予想	増減率	差異
売上高	13,923	14,440	+3.7%	+517
営業利益	1,310	1,430	+9.2%	+120
経常利益	1,357	1,460	+7.6%	+103
当期純利益	881	950	+7.7%	+69

平成27年3月期 配当予想(変更なし)

平成27年3月期(予想): 普通配10円＋記念配1円(創立70周年記念)＝11円



国内

- (1) 環境・プロセス機器の水質総量規制更新需要の積極展開
- (2) 水道水用水質自動測定装置(MWB4型)の全国展開の推進
- (3) 「透析用薬剤溶解装置」の販売組織力とサービス力の強化
- (4) 微小粒子状物質(PM2.5)測定装置の需要増の的確な対応
- (5) フル稼働状態の火力発電所の更新改造需要の営業力強化
- (6) HACH No.1 GOAL (ラボ・試薬類) 販売網拡充・拡販

海外

- (7) 中国ほかアジア各国向け環境用水質分析計を中心に拡販
- (8) 海外各国の環境規制調査と適合製品の推奨と営業力強化

JASIS2014に出展

9月3日(水)～5日(金)幕張メッセにおいて『JASIS2014』が開催され、HACH製品及び当社の主要な科学分析機器のほか、9月に発売を開始したCODR-400型、NPW-400型、ハック・ウルトラ社の新型TOC計QbD1200を展示しました。



昭和29年(1954年)に発売された卓上型pH計HM-5(A)型が「分析機器・科学機器遺産」として認定されました。

未来の価値を創造し“世界に役立つ”企業を目指す

- 人を活かす経営
- 市場対話型の経営
- 研究・開発型経営
- ブランド力経営



女性の活躍できる
職場

未来のお客様の
創造

シニアの匠の
技術で未来を変える

DBS導入
未来経営の布石

世界で戦える“世界最高水準の頭脳集団”を創る

- 独自製品の品揃え
- 独自営業力の展開
- 独自サービスの開発
- 独自設備の開発



成長の柱に医療分野
を加え業容拡大

国際ビジネス対応型
の構造改革

産・学・官のコラボで
事業領域の拡大

未来を受け継ぐ
幹部社員の育成

企業全領域の常識を変える改革・革命

- 海外売上高比率30%
- 開発期間1/2化
- 外部不良1/2化
- 単月黒字化の継続



経常利益率10%以上
の無借金経営

新製品革新率
の拡大

棚卸資産回転率
の向上

目標売上高の達成

環境分野製品を通じて地球環境の保全と人にやさしい社会環境の実現に貢献する

グローバル市場におけるポジションの確立

海外市場の積極的開拓

高度な研究・開発・生産・販売
の確立と市場からの信頼の獲得

長期～

世界最高水準の製品・サービス提供
不動産に頼らない経営
海外売上高比率30%以上

平成27年3月期(71期)

開発期間の効率化
海外売上高比率15%以上

平成26年3月期(70期)

海外への積極展開
東証二部市場から東証一部市場指定へ
月次の55ヶ月連続黒字化

平成28年3月期
売上高150億円以上
経常利益率10%以上

平成25年3月期(69期)

第4次中期経営計画の策定

平成27年3月期(予想)
売上高144億円
経常利益14.6億円

平成26年3月期(実績)
売上高139億円
経常利益13.6億円

平成25年3月期(実績)
売上高136億円
経常利益14.2億円

平成24年3月期(実績)
売上高143億円
経常利益16.4億円

平成13年3月期 合併(57期)

『誠実・創造・挑戦』をモットーに着実な成果の実現
電気化学計器(株)との合併→新東亜ディーケーケー(株)へ
米HACHとの資本提携→海外展開の土台確立
財務・組織等、強固な企業グループ体質に

1. 本資料は当社をご理解いただくために作成されたものであり、当社への投資勧誘を目的としたものではありません。
2. 本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保障を与えるものではありません。
3. 将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。
4. 業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。
5. 本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

＜お問い合わせ＞

東亜ディーケーケー株式会社
企画総務部 企画・IR課

電話：03-3202-0242

メール：ir@toadkk.co.jp

URL：<http://www.toadkk.co.jp/>